

今年は平年より灰色かび病の発生が長引いています

なす 灰色かび病

防除を心がけましょう。

病原菌は
開花後のしおれた老化した花弁などから侵入します



灰色かび病症状

写真提供：
愛知県農業総合試験場
(発病適温は18～20℃)

- 曇雨天が続くとハウス内が多湿になり、発病しやすくなります。
- 茎葉が過繁茂になると気温が上がっても病気の勢いは衰えません。
換気とあわせて適度に整枝して、株内の湿度を下げましょう。
- 発病果は感染源になりますので、確認したら早めに除去し、
ハウス内に残さを残さないようにしましょう。

なす 灰色かび病防除剤

平成27年4月22日現在

薬剤名	希釈倍数	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	予防	治療	浸透性	系統
ピクシオDF	2000倍	前日まで	4回以内	○	○	○	ヒドロキシアニリド
ファンタジスタ顆粒水和剤	2000～3000倍	前日まで	3回以内	○	○	○	QoI (ベンジルカーバメート)

耐性菌の出現を避けるため、
同系統の薬剤の連用は避けて、ローテーション防除を心がけましょう。



農薬の使用にあたってはラベルの表示事項を守りましょう。